

吉崎投手と ～豊平のまちとこれからの語る～

AM9:00



▶区長室に入室。札幌ドームでの六連戦の合い間を縫って駆けつけくれた吉崎投手。ちよっと緊張気味？

スタート  
START

AM9:15



▶小田桐久信豊平区長から「豊平のまちを知り、区民とふれあい、豊平区の魅力を十分に堪能してください」と一日区長の委嘱状が交付され、「吉崎区長」が誕生！



▶「初めての経験なので緊張します。マウンドの方がいいですね」と話す吉崎区長

◀区長席に着席。「こんな広い机は初めて」



▶区長同士で名刺交換。「名刺を持つのは初めてなのでうれしい」と、初めて尽くしの体験に笑顔がこぼれます



「名刺はこれ！」

あやめ野小学校に移動



「私たちに楽しい夢を与えてください」(小田桐)



るので、札幌も「住めば都」になると思います。

小田桐 以前来道されたことは？

吉崎 修学旅行で札幌に来たことがあります。それ以来ですね。

小田桐 これから私たちに楽しい夢を与えてくださるということ、皆で暖かく応援していきたいと思っています。札幌のまちにはどのような印象を持たれましたか？

吉崎 きれいなまちだと思います。街並みは、出身の京都に雰囲気似ています。京都を大きくした感じですね。

小田桐 豊平のまちには、明治以前の古い歴史があるんですよ。札幌

幌開祖と呼ばれる志村鐵一が、豊平川の渡し守として、安政四年ころ豊平の地に定住したことから豊平の開拓の歴史が始まりました。

また、明治時代からリンゴ栽培が始まり、戦後も行われていました。その後、宅地化の進行などによってリンゴ園は姿を消していったのですが、今日、見ていただいたリンゴ並木は、そうした歴史を後世に伝えようと整備されたものです。収穫したリンゴを、後日お届けしますので待っててくださいね。



▲豊平区長 小田桐久信

